

図画工作科学習指導案

I 題材 大人の知らないぼくらの秘密基地 ―造形遊び―

II 考察

1 題材観

(1) 学習内容：学習指導要領上の位置付け

A表現（1）材料や場所などの特徴を基に造形遊びをする

(2) 伸ばしたい主な資質・能力

- ・材料や場所などの形や色，特徴などに関心をもち，自分の思いをもって造形的な活動に取り組もうとする態度
- ・材料や場所などの形や色，特徴などを基に造形的な活動を思い付いたり，周囲の様子を考え合わせたりする力
- ・手などを働かせたり，今までの経験を生かしたりしながら材料や用具を使い，様々な方法を工夫する力

(3) 題材の価値

場所や材料の特徴を基に，自分が入り込むことのできる空間をつくることのできるようにしたいと考え本題材を設定した。その価値は以下のとおりである。

- ・材料や場所などの特徴を基に，自分が入り込むことのできる空間をつくることを楽しむことができる。
- ・空間の奥行きに気を配りながら，材料を配置することができる。
- ・場所の特徴を基に材料の組合せ方を工夫することができる。
- ・空間の奥行きを感覚的に捉えながら，小さな空間のよさや場所の雰囲気の変化を感じ取ることができる。

本題材における，身体感覚を働かせて，ものに関わる体験を積み重ねる活動の価値は以下のとおりである。

入り組んでいるなどの場所の特徴を基に，大きな板材を組み合わせるなどして，自分が入り込むことのできる空間をつくる過程で，入ったり，離れて見たりして動きや視点を変えることができる。このような活動を通して，ものの変化や取り巻く空間を感じるようになる。

(4) 今後の学習

ここでの学習は，5年「風 見える化大作戦」での，風が吹く場所を見つけ，場所の特徴に合った材料や用具を考えて，風の動きを可視化するものをつくる学習へと発展していく。

(5) 共通事項との関連 ※指導と評価の計画参照

2 児童の実態及び指導方針

子どもたちは，4年「切ってけずって」において，切った木片の形を生かし，組合せ方やつなぎ方を工夫してつくる学習に取り組んできた。また，4年「見えないものが見えて

きた」での、校舎内や校庭にある身近な風景を見て、面白さを感じ取る学習に取り組んできた。これらの学習の中で、明らかになった子どもの実態及び本題材を進めるにあたっての指導方針は、次のとおりである。

- ・子どもたちは、身近な場所や身の回りにある形や色の面白さを発見し、楽しんで取り組むことができている。このような子どもたちに、自分が入り込むことのできる空間のよさや、つくったものによる場所の雰囲気の変化を感じながら活動を楽しむことができるよう、入り組んでいるなどの特徴が表れやすい場所を活動範囲とし、場として設定する。
- ・子どもたちは、切った木片をつなぎながら、新しい形を思い付いたり、その形から考えたりすることができている。このような子どもたちが、空間の奥行きに気を配りながら配置を考えることができるよう、場所の特徴に合わせて組み合わせたり、つくり変えたりすることが容易な段ボールなどの板材を学習材として設定する。
- ・子どもたちは、材料の特徴を生かして、木材をつなぐ方法を工夫することができている。このような子どもたちが、場所の特徴を基に材料の組合せ方を工夫することができるよう、透過性があるものとないものの2種類の板材を学習材として設定する。

Ⅲ 目標及び評価規準

Ⅳ 指導計画 ※Ⅲ・Ⅳについては、指導と評価の計画参照

Ⅴ 本時の学習

- ねらい つくりたい場所の特徴を基に、材料の使い方を工夫しながら、自分が入り込むことのできる空間をつくる。
- 準備 段ボール プラ段ボール ガムテープ 段ボールカッター タブレットPC 電子黒板
- 展開

| 学習活動と子どもの意識 | 指導上の留意点 |
|--|---|
| <p>1 本時の活動について知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・窓を生かして、光を取り込めるようにしたいな。 <p>2 場所の特徴に合った材料を使って、自分が入り込むことのできる空間をつくる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・壁は、光を通すことのできるプラ段ボールにしよう。 ・壁をプラ段ボールにしたことで、中が明るくなったよ。 ・窓から入る光を取り込んで、内側が明るい秘密基地ができたぞ。 ・外から見ると狭そうに見えたけど、実際に中に入ってみると、意外に広くて4人も一緒に入れたよ。 <p>3 本時の活動を振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いつも通っている廊下が、秘密基地があると違って見えるよ。 | <ul style="list-style-type: none"> ○前時につくったものを電子黒板で見ながら、場所の特徴を生かして工夫をしている点を紹介する。 ○どのように場所の特徴を生かした工夫をしているか問いかける。 ○場所の特徴を生かした工夫をしている子どもを賞賛する。 ○タブレットPCを使って他の場所で活動している子どもの様子を見るよう促す。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p style="text-align: center;">— 評価項目 —</p> <p style="text-align: center;">場所の特徴に合わせて、材料を組み合わせたり、加工したりして自分が入り込むことのできる空間をつくっている。</p> <p style="text-align: right;"><行動(3)></p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ○子どもたちがつくったものを電子黒板で比較して見ながら、工夫した点を賞賛する。 |

指導と評価の計画（全4時間予定）

| 目標 | 自分が選んだ場所の特徴を基に材料を使って、自分が入り込むことのできる空間をつくる。 | | | |
|------------------------------|--|---|--|---|
| 評価 規準 | (1) 場所や材料の特徴を基に、自分が入り込むことのできる空間をつくることに取り組もうとしている。 (2) 自分が選んだ場所や材料の特徴を基に、自分が入り込むことのできる空間の作り方を思い付いている。 (3) 入り組んでいるなどの場所の特徴を基に、材料の組合せ方や加工の仕方を工夫している。 (4) 自分が入り込むことのできる空間のよさや、つくったものによる場所の雰囲気の変化を捉えている。 | | | |
| 過程 | 時間 | 学習活動 | 指導上の留意点（☆は、研究に関わる手立て） | 評価項目<評価方法（観点）> |
| ふく くねら るませ る | 1 | ○材料で試しながら、自分が入り込むことのできる空間をつくる場所を選ぶ。 | ☆場所の特徴が表れやすく、つくったものによる場所の雰囲気の変化を捉えることができるよう、入り組んでいた、光が差し込んでいたりするなどの、慣れ親しんだ場所を場として設定する。 | ◇たくさんの場所を見たり、友達と話し合ったりして、場所に材料を当てたり立て掛けたりしながら、自分が入り込むことのできる空間をつくる場所を探している。 <行動（1）> |
| あら わす | 2 | ○場所の特徴に合った材料を使って、自分が入り込むことのできる空間をつくる。（本時2/2）  自分が入り込むことのできる空間 （秘密基地） | ☆自分の選んだ場所の特徴を基に、空間の作り方を繰り返し試しながら発想できるよう、以下のような学習材を設定する。 <ul style="list-style-type: none"> ・縦に折って置くだけで自立する、高さのそろった壁のできる一辺の長さをそろえた板材。 ・入り組んだ場所の形に合わせてられるような様々な大きさに切った長方形の板材。 ・透過性のあるプラ段ボールと透過性のない段ボール。  一辺の長さをそろえた板材  入り組んでいて慣れ親しんだ場所 | ◇場所の特徴に合わせて、材料の向きや置き方を変えている。 <行動（2）> ◇場所の特徴に合わせて、材料を組み合わせたり、加工したりして自分が入り込むことのできる空間をつくっている。 <行動（3）> |
| あ じ ひわ ろう げ る | 1 | ○自分や友達のつくった、自分が入り込むことのできる空間を、互いに紹介し合いながら楽しむ。 | ○自分や友達がつくった、自分が入り込むことのできる空間のよさや、つくったものによる場所の雰囲気の変化を捉えることができるよう、互いのつくったものを写真に撮りながら見て回る時間を確保する。 | ◇自分や友達のつくった、自分が入り込むことのできる空間に入ったり、視点を変えて見たりしている。 <行動・発言（4）> |
| 共通事項 | 空間の広さや狭さを体全体で感じながら自分が入り込むことのできる空間をつくる活動を通して、形や色、動きや奥行きなどの造形的な特徴を捉え、自分なりのイメージをもつ。 | | | |